

# 2 学力向上アクションプラン

## 横浜市立美しが丘東小学校 令和元年度 学力向上アクションプラン

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p><b>豊かな心 大きな夢 つなげ広げる 美東の子</b></p> <p>(徳) 礼儀を重んじ、友達を思いやり、感謝の気持ちをもつ子を育てます。</p> <p>(体) 健康の大切さを知り、自分や人の生命と体を大切にすることを育てます。</p> <p>(知) 自ら興味や関心を広げ、あきらめずに挑戦する子を育てます。</p> <p>(公) 自らができることを考え実践し、他者と共に生きようとする子を育てます。</p> <p>(開) 様々な人とのコミュニケーションを大切に、豊かに表現できる子を育てます。</p>	<p>・「ひと・もの・こと」と積極的に関わり、主体的、対話的で深い学びを通して、物事を多面的に考えたり、他者や自己を理解しようとしたりする態度を育てるとともに、思いや考えを伝え合う力の育成を目指す。</p>

#### (2) 中期取組目標

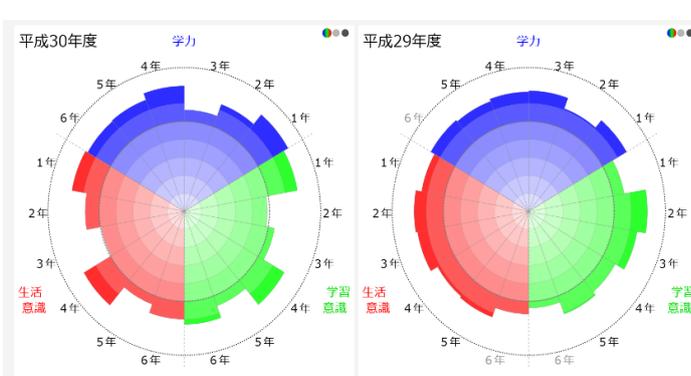
中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現や学び合いを大切にしながら「生きる力」を向上させます。</li> <li>・児童理解、特別支援の体制を充実させ、子ども一人ひとりが自己有用感をもち「行きたい学校」「安心できる学校」と思える学校にします。</li> <li>・まちの教育力（保護者、地域、ボランティア等）を活用した学習を取り入れ、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験を通して、まちを愛する心を育てます。</li> <li>・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、健康で安全な学校生活が送れるようにします。</li> <li>・「チーム美東」として全教職員が、主体的に学校運営に参画して、活力ある学校づくりをします。</li> </ul>

#### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p><b>確かな学力 (学習指導)</b></p>	<p>① 全学級で「学習スタンダード」を意識した授業展開を図る。目あて、見通しをしっかりとらせ、主体的に課題解決ができるようにする。</p> <p>② 重点研究を国語科とし、言語活動の充実を図り、伝え合う力を育てる授業づくりを目指す。</p>
<p>担当 重点研 推進委員</p>	

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

### 1) 学力の概要と要因の分析



全ての学年で、学力が市の平均を上回っており、基礎となる学習は身につけていると考えられる。特に国語科と算数科において大きく市の平均を上回っており、他の教科の学習の内容を理解するためのベースとなる力になっていると考えられる。学習意欲においては、2年以外は各学年、各教科いずれも市の平均を上回っている。生活意識では、「自分にはよいところがある」の数値が高い学年が多く、また、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」が高くなっていることから、やるべき課題にしっかりと向き合い、楽しんで取り組んでいる様子がうかがえる。

### 2) 教科学習の状況

- 国語：学年ごとに多少のばらつきはあるが、「知識・理解・技能」や「読む能力」「書く能力」がどの学年も市の平均を上回っている。
- 算数：基礎の定着ができており、市の平均を上回っている。「数学的な考え方」の高い学年も複数あり、自分の考えを説明することや普段の生活に生かそうとする意識が、特に高学年は高い。
- 社会：市の平均を上回っており、特に「思考・判断・表現」が高い学年が多い。また、知識が豊かである。
- 理科：市の平均を上回っており、特に「知識理解」「思考・表現」が高い学年が多い。

### 3 平成31年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	意欲をもって自分の 思いや考えをわかり やすく伝え合おうと する力の育成	○生活科を軸として、地域や保育園 との交流を通して人とのつなが りの大切さに気付かせ、感謝の気 持ちのもてる場面を位置づける。 様々な学習や体験を通して、自分 のことは自分でできる力をつけ させる。	○行事への取組では、学年で指導に あたり、一人ひとりが最後までや り通せるよう支援していく。
2年		○生活科を軸として、身の回りの生 き物や人と関わりながら、積極的 に学ぶ子どもを育てる。感じたこ とや体験したことを様々な方法 で表現させる場面を位置づけて いく。	○子ども同士で学びあいができるよ うに、いろいろな学習環境を提供 していく。
3年	聞いて比べて発信す る力の育成	○社会や総合的な学習では、課題別 学習の形態をとり、学級の枠をこ えた指導を行うとともに、地域の 人と積極的に関わるように進め る。	○遠足、まち調べなどを通して、友 達のことを思いやり、協力して活 動できるように支援していく。各 担任が共通理解を図りながら、学 年児童全員の指導にあたる。
4年		○友達との関わり合いを通して、 互いを認め合うとともに、上級 生や下級生との関わりも意識 して過ごせるように指導する。	○課題に対する自分の考えを表現 する場面を設けて、思考力が高ま る授業づくりを行う。体験的な学 習の機会をつくり、活動を通して 事実や問題を客観的にとらえら れるようにする。
5年	主体的に対話をし、自 分の考えを深めたり 広げたりする力の育 成	○一人ひとりが安心して自分の考 えを伝えられる雰囲気を作り、 様々な活動に心を合わせて取り 組むようにさせる。	○挑戦する姿勢を大切に、課題解決 に向かって自ら努力できるよう、 共通理解を図りながら指導する。
6年		○全員が実行委員を経験する中 で、見通しをもって主体的に行 動したり、多くの人と関わりあ ったりする機会を設定する。	○グループ学習や外部講師による 授業、校外学習など多角的な学習 の場を設定し、豊かな学びを目指 す。
個別 支援 学級	意欲をもって自分の 思いや考えをわかり やすく伝え合おうと する力の育成	○個別の教育支援計画・個別の指導 計画をもとに、一人ひとりの実態 を把握し、個に応じた指導・支援 を行う。 ○各学年の児童や職員との交流の 中で、児童の発達段階に応じてコ ミュニケーション力を高めるよ うな場面を多く取り入れる。	○お互いの個性を認め合い、困った 時に助けてほしいといえる、誰にと っても安心できる集団作りを行う。